

予防しましょう！

散歩中の不適切マーキング



まずはトイレトレーニングから

○子犬のうちからトイレトレーニングを！

生活サイクルのパターンや尿意（便意）をもよおした時のサインを読み取り、タイミングよくトイレの場所に連れて行くようにしましょう。

子犬のトイレトレーニングに失敗はつきもの。失敗してしまった場合は、絶対に叱ったり、罰を与えたりせず、黙って片付けましょう。上手にトイレができた時は、すぐに褒めてあげましょう。

○成犬のトレーニングも基本は子犬と同じ

成犬のトイレトレーニングも尿意（便意）をもよおした時にタイミングよくトイレの場所に連れて行くようにします。

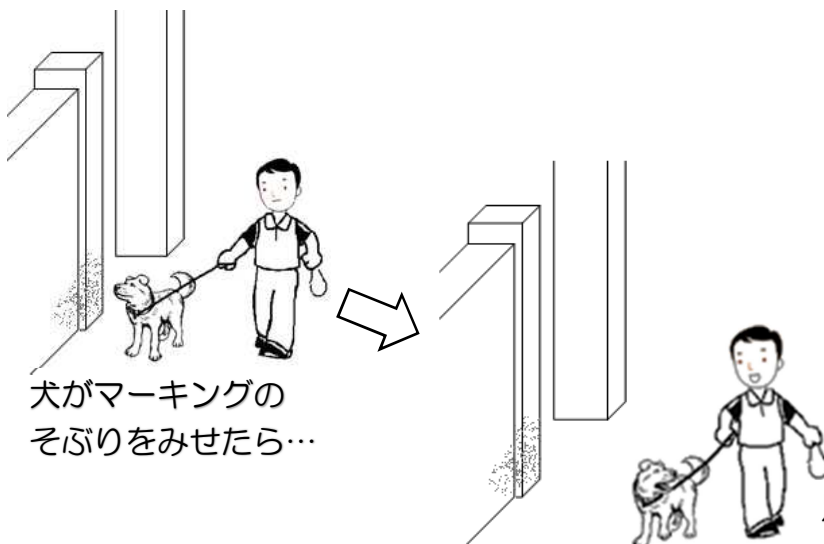


マーキング対策

○マーキングも飼い主がコントロールを！

オスメスにかかわらず他人の家の門柱や塀、電柱など不適切な場所でのマーキングをさせないようにしましょう。

散歩中はリードを短めに持ち、マーキングしそうなどころには近づかせないようにし、においを嗅ぎ始めるなどマーキングするそぶりを見せたら、その場を離れるようにしましょう。



犬がマーキングのそぶりをみせたら...

足早に次の場所へ移動しましょう！

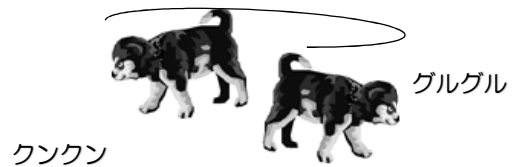
* 普段はリードを短めに持ち、マーキングする「間」を与えないように歩くスピードを変えるなどすることで不適切なマーキングを予防することができます。

【子犬の標準的な生活サイクル】

眠る→起きる→オシッコする→食べる→ウンチする→遊ぶ→疲れる→眠る

【トイレのサイン】

地面のにおいを嗅いだり、同じ場所をグルグルしだしたりしたらトイレのサイン



散歩時には水を携帯しましょう



万が一、不適切な場所でマーキングしてしまった時のために水を入れたペットボトルなどを持ち歩くようにしましょう。

一般財団法人 滋賀県動物保護管理協会

〒520-3252 滋賀県湖南市岩根 136-98

TEL0748-75-6522・FAX0748-75-3295